

厳戒態勢の中、川崎フロンターレ再始動

(川崎市中原区等々力の等々力陸上競技場の様子)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、様々なイベントで対策が講じられた令和2年。

川崎フロンターレでも、厳戒体制のなかホームゲームが開催されました。

スタジアムへ入場する際は必ず検温を行い、サポーターは一定の距離を保って入場します。また、入場口付近のイベントブースや販売ブースでは、飛沫防止シートを設置するなど、徹底した対策が取られました。

スタジアム内では、入場人数が制限されこまめなアルコール消毒やマスクの着用が義務付けられたほか、2席間隔を空けての観戦など、様々な工夫が講じられました。

試合中は、大声を出す応援を禁止し、代わりに、選手に向けてタオルマフラーを掲げ音楽に合わせて左右に振ることで応援を行いました。

(音楽に合わせてタオルを振る様子)

試合終了後には、声を出せない代わりに、選手たちに温かい拍手が贈られました。